

## 3学年：オペレッタ（黒姫童話館）

今年の三年生は、黒姫の地に伝わる「黒姫物語」を題材に創作された『黒姫伝説』のオペレッタに取り組んできました。まず初めに絵本や紙芝居で「黒姫物語」とはどんなお話なのかを学習しました。そして、実際に演じる『黒姫伝説』の内容を、セリフや歌を通して読みとっていきました。絵本や紙芝居の終末では、黒姫と黒龍が幸せに暮らすのに対し、『黒姫伝説』では、黒姫が身を投げてしまうという悲しい結末を迎えます。お話を読み進めながら、「この場面の黒姫をやりたい。」「村人をやりたい。」と、表現への意欲がとても高まりました。

6月には、若武者と黒龍の歌を担当される森野信生先生とピアノ担当の末高明美先生、7月には指揮の河地良智先生と末高先生

と末高先生に歌の指導をしていただきました。とてもきれいな声に驚かれ、たくさんほめていただき、さらにながらばっていこうという気持ちになりました。オペレッタでは、歌はセリフに代わるものですから、その場面の様子や気持ちが伝わるよう、音楽の授業や教室で歌い込んでいきました。それと同時に、国語では語りやセリフの部分の学習を進めていきました。正確に音読することや気持ちを表す話し方の工夫、伝えるための間のおき方を

追究し、夏休み明けには、末高先生と通し練習を行いました。初めて広い体育館で演じてみると、教室で話しているようには伝わらないことを実感し、本番までは伝えることに重点を置いて取り組みました。

そして迎えた9月10日当日。黒姫童話館の童話の森ホールは、家族や町の方でいっぱいになりました。関わってくださったたくさんの方々の応援を力に、堂々と語り、歌い、フィナーレではホール全体が美しい歌声で包まれました。

すぐ目の前にある黒姫山の黒姫と黒龍にも届いたのではないのでしょうか。プロの方との共演や学年で心を合わせて一つのステージを創り上げたことはとてもいい経験になりました。この経験を今後の活動に活かしていきたいと思います。



さすがプロの歌声！



「拙者は大沼池の主」



泣き崩れる黒姫



「姫に近づく奴は切れ！」



大成功！

## School Correspondence



## 信濃小中学校だより そよげわか竹

「ふるさと学習」を頑張っています！

## 5学年：クリーンラリー（野尻湖）

野尻湖の水環境を知り、関心をもてるように毎年行われる『野尻湖クリーンラリー』。

事前学習会、観察用具の使い方講習会を経て、いよいよクリーンラリー本番を迎えました。

遊覧船に乗って野尻湖最深部の湖上まで移動し、調査が始まりました。透明度を測り、水温を調査し、プランクトンを採取しました。透明度は11mもあり、透明度の高さにビックリ。

さらに、湖の底から汲み上げた水に手を入れ、その冷たさに、声を上げてビックリしている子どもたちの姿が印象的でした。

旧野尻湖小体育館へ移動し、野尻湖に関するテーマごとに分かれたブースを、班ごとに見学して回りました。COD水質検査を体験し、野尻湖の水がきれいだということを実感している姿や、ソウゴヨの説明を聞き、その剥製にじっと見入っている姿がありました。

野尻湖から採取したプランクトンを顕



湖水の水温調査の様子



船上でのプランクトン採取



COD 水質検査

微鏡を通してモニター画面で観察し、その姿形や動きに歓声を上げたり、妙高戸隠連山国立公園についての説明を聞き、そのブースでいただけるパンフレットをうれ



プランクトン顕微鏡観察



野尻湖の魚類観察



鳥居川の水生生物観察



妙高戸隠連山国立公園についての話を聞く

しそうにもらったりする姿も見られました。

寒天質の粘液で覆われている水草「ジュンサイ」や、鳥居川の水生生物にも、実際に触りながら学習することができました。

長野県や信濃町の職員の方々、ナウマンゾウ博物館や漁業協同組合、環境保全研究所など沢山の皆様にお世話になって、充実した楽しい体験学習の時間をもつことができました。